

プログラム 名称	地域災害環境システム
概要	日本は豊かな自然環境の恩恵を受ける一方自然災害も多く、豊かさや災害は表裏一体の関係にある。世界の自然災害は過去20年間で倍増しており、防災・減災や災害レジリエンスの高度化・精緻化が進む一方、人口減・高齢化による地域力の低下など地域の実情に合わせた方策・施策の集約化も必須である。また企業においても環境や社会等に配慮したESG経営が求められており、SDGsの達成に向けこの分野への備えは欠かせない。「地域災害環境 システム学」は自然災害の頻発化・激甚化が予測される時代を迎え、「災害や環境変化に強い地域社会」の構築を目指す新しい学問分野である。
到達目標	1) 豊かさや災害は表裏一体の関係にあること、また近年の自然災害の頻発化・激甚化、人口減・高齢化による地域力の低下などにより、災害や環境変化に強い地域社会の構築を目指す必要性を理解することができる。 2) 人間活動も含めた地域社会の諸問題を認識し、地域の災害や環境変化に関わる諸課題の解決に向けて、中長期的な視点に基づいて取り組むことができる。 3) 災害や環境変化に関わる地域社会の諸問題に、ESGの基本的知見・知識・知見を取り入れることができる。
履修資格	
修了要件	区分A（必修）、区分B（環境系科目）、区分C（ガバナンス系科目）、区分D（社会系科目）の科目から各2単位以上、合計12単位以上を修得していること。
その他 特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	必修	単位	学期	曜限	形態	対象学年	分野	水準	定員	隔年開講	備考
A	262G3254	地域災害環境システム学入門	○	1	第2ターム	水5	講義	1,2,3,4,5,6	75	03	150		
A	263G3753	地域災害環境システム学演習	○	1	第3ターム	水5	演習	1,2,3,4,5,6	75	03	30		
B	261S0581	環境気象学		2	第1ターム	火2,金2	講義	2,3,4	44	04	40		
B	264G6517	地球と気象		2	第4ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	44	03	150		
B		環境政策論											
B	260G2901	健康スポーツ科学実習 II（野外活動）		1	集中	他	実技	1,2,3,4,5,6	14	03	40		
B		河川工学（工）											
B	264T2033	海岸工学		2	第4ターム	月3,木3	講義	3,4,5,6	52	04	50		
C	261G7071	組織マネジメント論		2	第1ターム	木1,木2	講義	1,2,3,4,5,6	37	03	200		
C	264T0004	技術者の心がまえ		2	第4ターム	水3,水4	講義	1,2,3,4,5,6	49	13	600		
C		経営管理と社会的責任											
D	260G3705	SDGs入門		2	第3,4ターム	月2	講義	1,2,3,4,5,6	75	03	200		
D	263G7516	現代社会論		2	第3ターム	水1,水2	講義	1,2,3,4,5,6	38	03	150		
D	263T8006	マーケティング基礎		2	第3ターム	木3,木4	講義	3,4,5,6	37	14	35		
D		マーケティング論 II											

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。